

## アルピクス・映像 / 音声エラー検出装置 VAD-210

(Ver.1.01)

## 特 長

現用・予備の2系統のSDI(NTSC)信号を比較し、映像・音声のエラーを検出し、エラー内容をフロントパネルLED表示と100BASE-TX/10BASE-T対応LANインタフェース(RJ-45)にて外部へ通知します。ビデオレベル、音声レベル等の映像、音声基準のクリア/エラーを監視します。  
 現用・予備の2系統の信号を同期させることによって、両信号の比較を行います。  
 現用・予備の遅延量は、±2フレームまで許容します。

## 仕 様

## 現用側映像・音声入力信号

入力信号数 : 1系統  
 信号形式 : 映像 : NTSC、SDI(D1) SMPTE259M - C  
 : 音声 : エンベデッドオーディオ4ch(主L, R・副L, R)  
 入力接栓 : BNCコネクタ

## 予備側映像・音声入力信号

入力信号数 : 1系統  
 信号形式 : 映像 : NTSC、SDI(D1) SMPTE259M - C  
 : 音声 : エンベデッドオーディオ4ch(主L, R・副L, R)  
 入力接栓 : BNCコネクタ

## 映像モニタ出力信号

出力信号数 : 現用・予備 各1系統  
 信号形式 : NTSC、アナログVBS  
 出力接栓 : BNCコネクタ

## 映像調整用比較映像モニタ出力信号

出力信号数 : 2系統  
 信号形式 : NTSC、アナログVBS  
 出力接栓 : BNCコネクタ

## 音声モニタ出力信号

出力信号数 : 2系統×2(現用・予備 各4ch(主L, R・副L, R))  
 信号形式 : アナログ アンバランスステレオ4ch  
 出力接栓 : RCAピンジャック

## 外部通知

通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース  
 プロトコル : TCP/IP  
 コネクタ : RJ-45モジュラ

外形寸法 : W430 × H44 × D349 mm

質 量 : 約 3 kg

電源電圧 : 100V ± 10% AC 50 / 60Hz

消費電力 : 約 25 W

使用温度 : 5 ~ 40

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります

[型番]

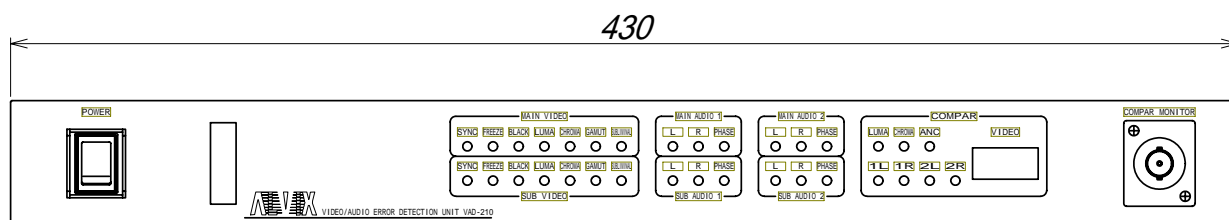
VAD-210

アルピクス株式会社

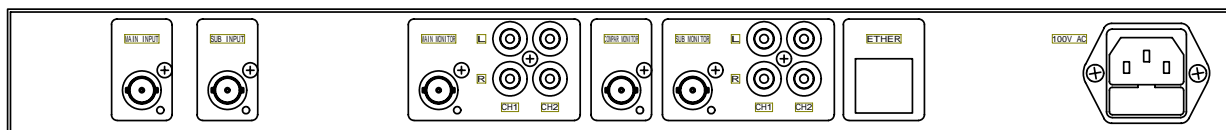
[整理番号]

外形図

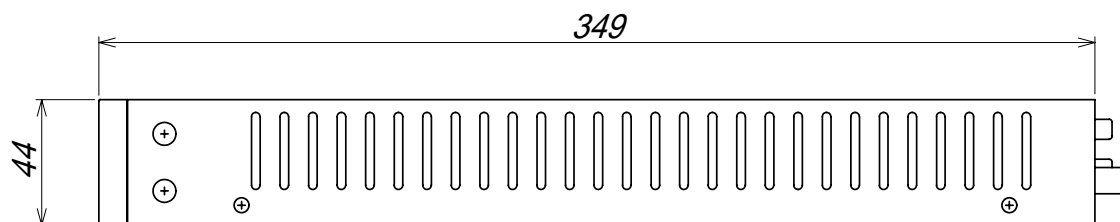
単位: mm



前面



背面



側面

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

[型番] VAD-210	アルビクス株式会社	[整理番号]
-----------------	-----------	--------

## 画像エラー検知項目

### ・同期断・エラー(現用・予備)

SDI信号入力に同期信号が検出されないとき、エラーとなります。

### ・ガンマット・エラー(現用・予備)

SDI信号のYCbCrをGBRに変換した際、GBRの信号レベルに異常がある場合エラーを検出します。1フレーム中にレベル異常のドットが設定値を越えて存在する場合はエラーとします。

レベルUPPER(101～109%)

レベルLOWER(-1～-6%)

異常ドット数(1～100%)

### ・輝度レベル・エラー(現用・予備)

SDI信号のY信号レベルに異常がある場合エラーを検出します。1フレーム中にレベル異常のドットが設定値を越えて存在する場合はエラーとします。

エラー検出設定項目

レベルUPPER(101～109%)

レベルLOWER(-1～-6%)

異常ドット数(1～100%)

### ・色差レベル・エラー(現用・予備)

SDI信号のCbCr信号レベルに異常がある場合エラーを検出します。1フレーム中にレベル異常のドットが設定値を越えて存在する場合はエラーとします。

エラー検出設定項目

レベルUPPER(101～106%)

レベルLOWER(-1～-6%)

異常ドット数(1～100%)

### ・ブラックアウト・エラー(現用・予備)

映像がブラックアウトした状態が1秒以上連続した場合にエラーを検出します。  
ブラックアウトを検知する領域を設定することが可能です。(フリーズと共通領域)

### ・フリーズ・エラー(現用・予備)

映像がフリーズした状態が1秒以上連続した場合にエラーを検出します。  
フリーズを検知する領域を設定することが可能です。(ブラックアウトと共通領域)

### ・サブリミナル・エラー(現用・予備)

前後フレームの映像の相関からシーンチェンジを検出。シーンチェンジからシーンチェンジの間隔を測定し、しきい値以下の間隔でシーンチェンジがあった場合にエラーとします。  
設定範囲は1～10フレームです。

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

【型番】 VAD-210	アルビクス株式会社	【整理番号】
-----------------	-----------	--------

・輝度データ比較・エラー

現用、予備の2系統を同期させ、輝度信号データを比較します。  
データに差がある場合、エラーとします。

・色差データ比較・エラー

現用、予備の2系統を同期させ、色差信号データを比較します。  
データに差がある場合、エラーとします。

・ANCデータ比較・エラー

現用、予備の2系統を同期させ、映像ブランキング期間のデータを比較します。  
データに差がある場合、エラーとします。(第10ラインは比較されません)

・映像比較・エラー

現用、予備の2系統を同期させ、映像を比較します。入力信号をデータとしてではなく映像としてとらえ、比較します。

音声エラー検知項目

・レベル・エラー(現用・予備)

エンベデッドオーディオ信号のピーク値を測定し、その値がピーク値を越える場合、エラーを検出します。エラー検出のしきい値はUPPERとLOWERについて設定可能で、設定範囲はUPPER:0 ~ -20dB LOWER: -30 ~ -50dBです。  
主音声LR、副音声LRについて監視します。

・無音・エラー(現用・予備)

エンベデッドオーディオ信号のピーク値を測定し、そのピーク値が-50dB以下の状態が1秒以上連続した場合にエラーを検出します。主音声LR、副音声LRについて監視します。

・逆相・エラー(現用・予備)

オーディオ信号の逆相状態が、1秒以上連続した場合にエラーを検出します。主副音声について監視します。

・音声比較・エラー

現用、予備の2系統を同期させ、音声信号レベルの差を抽出します。  
レベル差のしきい値は、フルスケールに対して0~20%です。  
主音声LR、副音声LRについて監視します。

その他

・各検知項目は個別にディセーブル可能です。

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

<small>【型番】</small> VAD-210	アルビクス株式会社	<small>【整理番号】</small>
--------------------------------	-----------	-----------------------